



発行所 啓光学園同窓会
〒573-1197
枚方市禁野本町1丁目13-21
発行人 田口 邦義
Tel:072-848-0521 Fax:072-848-2969
郵便振替口座 00910-3-306918
E-mail:keiko-gakuen.dosakai@zeus.eonet.ne.jp
URL:http://www.eonet.ne.jp/~am-keiko-gakuen

—— 母校のいま ——
全卒業生数 10,411名
[第43期(H17.3)までの
高校卒業生数]
在学学生数 中学 92名
高校 659名
教職員 82名
(H17.4現在)

同窓生各位には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に對しまして、色々ご協力ご支援を賜り誠にありがとうございます。さて、母校ラグビー部が、第84回全国大会で6度目の優勝を飾ると共に戦後初の四連覇を達成したことは誠に喜ばしいことであり、現役生徒・同窓生に對し「勇気」と、やれば出来るという「意欲」を与えてくれました。あの寒さ厳しい花園ラグビー場で、声を嘶らして現役生徒、先生方、同窓生、枚方市民が一体となって応援したことは、今日の日本社会に失われつつあると言われる「人」と「人」との繋がり大切さを実感させてくれました。



啓光学園同窓会
会長 田口 邦義

ごあいさつ

外、言い換えれば人間の本質的な衰弱の所産に違いない。人間が願望本意になってきて、自己本位になってきたことに原因がある。」と述べられていますが、又、自然現象においては、大きな天災が続き、経済面でも未だ明るい展望が見えない今日こそ、同窓生同士が互いに情報を交換し、励まし助け合い充実した社会生活を過ごすことが必要ではないでしょうか。同窓会に對する各位のなお一層のご協力、ご支援をお願いする次第であります。最後にになりましたが、会員各位のご健勝とご多幸を紙面をお借りしてお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

啓光学園の思い出
同窓会第2代会長
現職士通四国システムズ
取締役兼高知事業所長
二期生 三ツ橋 四郎
昭和39年に卒業し、関西大学工学部管理工学科から富士通株式会社に入社し、ずいっとシステムエンジニア一筋でここまで来ました。何度か勤務地を変わり、身赴任も松山、福岡、高知と約15年になります。ようやく過去を振り返るよい機会を貰ったと思つて、かすかな記憶をたどりながら、啓光学園の思い出を執筆させていただきます。一期生として中学校に入学したのは、昭和33年4月で当時の同期は20数人上級生も10名で、当時の朝日新聞に「もうつたいない話」として、「二年連続で掲載されたのが脳裏にこびりついてきます。人数が少なかつたので、「うみのほし幼稚園」のスクールバスで遠足に行ったり（近江八幡にいった時はバスが故障して全員で押し込んだね）、体育祭なんて出来なくて「うみのほし幼稚園」の園児と一緒にというより参加させてもらったという思い出が強く残っています。先生方、授業そつちのO先生は、授業そつちのけで台湾の青蜜族の話や、愛娘が通っている剛柔流の

空手の話とか話題が豊富で気分がよいと次から次に出てきました。みんな胸をわくわくさせて聞き入ったものでした。英語のT先生はブローコンの英語で、本当に英語の先生がいなと思うぐらいでした。戦争経験者で戦争の話をおもしろおかしく語ってくれました。ヘルメットに被弾したら頭を一周して入ったところから出てきて、その兵隊は四角ハゲになつたとか真偽のほどは分かりませんが、楽しい授業でした。超真面目な国語のO先生や社会のK先生etc.中でも上智大学を出たばかりのK先生（ベッキン）は、歴史担当だったか忘れましたが、山が好きで丹波の話ばかりで、挙げ句の果てにクラブを作ろうというところになって、二期生でワンダーフォーゲル部を立ち上げました。授業中にワンゲルとは？とか、部員募集をしたりとか夢中になっていました。高校一年生の時でした。結成した記念にどこかに行くことと言ふことになり、有志で淡路島を一周しようというところになりました。夏休みを利用して6、7人でテント担いで出発です。K先生には内緒だったような気がしますが、怖いもの知らずでテントの建て方も仕方も分からず無謀な遠征に出かけたものでした。

でも良くしたもので、台風の前とで道路は寸断され予定通りには進まず四苦八苦でしたが、地元の人たちの温かい応援を頂いて、無事走出来ました。途中の小学校では宿直の先生に校庭にテントを張らせてもらったり、農家のおばちゃんからはおかずや瓜の漬物を頂いたり、元氣づけられました。「大阪の高校生がよう来たの」と温かい支援をいただきました。初めてリュックサックを背負って慣れないので、約一週間の行程だったのがリュックずれを起こして背中が化膿して、帰ってから「不潔にするからだ」と元軍医のかかりつけの医者に言われたものです。今でもその時の傷跡が黠章として残っています。なんだかんだで自主トレは無事終わり、帰りのフェリーの中で、橋幸夫の「江利チ」が流れていたのが印象に残っています。記念すべきワンゲルの正式の合宿は春休みの白馬登山でした。エピソードはいつかワンゲルOBの水井君あたりから話してもらおうことにして、一つだけお話しします。もう時効になっていくと思います。今から思えば大した山行きでは無かったのですが、なんせ初めての体験で大雪

第28回総会のお知らせ
平成17年6月25日(土)午後2時から
場所 啓光学園 同窓会館
議題 事業計画 決算、その他 総会後懇親会
費用 無 料
ふるってご出席下さい

2004年度決算報告

自 2004年4月1日
至 2005年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

収入科目	予 算	決 算	増 減	備 考
前年度繰越金	2,020,742	2,020,742	0	
43期生会費	1,850,000	1,830,000	20,000	43期生会費(183名)
雑収入	5,000	3,867	1,133	貯金利息等
総 計	3,875,742	3,854,609	21,133	

【支出の部】

(単位:円)

支出科目	予 算	決 算	増 減	備 考
印刷費	300,000	303,642	▲ 3,642	会報印刷代
通信費	700,000	677,409	22,591	卒業証書ホルダー・ササ花代等
活動費	300,000	290,110	9,890	パソコンソフト
事務費	100,000	18,899	81,101	事務用品等
会議運営費	100,000	124,000	▲ 24,000	総会・役員会議
クラブ援助金	400,000	370,000	30,000	ラグビー部税金
予備費	975,742	0	975,742	野球部奨励会等
基本財産繰入	1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金		1,070,549	▲1,070,549	
総 計	3,875,742	3,854,609	▲ 21,133	

2005年度予算案

自 2005年4月1日
至 2006年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

収入科目	予 算	摘 要
前年度繰越金	1,070,549	
44期生会費	2,490,000	44期生会費(249名)
雑収入	5,000	
総 計	3,565,549	

【支出の部】

(単位:円)

支出科目	予 算	摘 要
印刷費	300,000	会報印刷代
通信費	700,000	会報郵送料
活動費	300,000	卒業証書ホルダー、ミサ花代等
事務費	100,000	
会議運営費	150,000	総会、役員会議
クラブ援助金	400,000	
予備費	615,549	
基本財産繰入	1,000,000	
総 計	3,565,549	

平成16年度活動報告

平成16年

- 4月7日・中学・高校入学式
- 6月10日・会報発行
- 6月26日・総会
- 6月27日・野球部激励会
- 9月26日・父母の会主催
チャリティ
ゴルフコンペ
- 11月6日・物故者慰霊ミサ
- 11月20日・ラグビー部後援会発足
- 12月30日・17年1月7日
ラグビー部応援

退職された先生

(平成17年3月退職)

- 長江 高司 (国語)
- 玉井 敦子 (国語)
- 牧野 秀樹 (国語)
- 浅田 剛寛 (社会)
- 石井 隆也 (数学)
- 本岡 大 (数学)
- 片山 裕章 (数学)
- 川崎 豊 (数学)
- 山路 泰弘 (理科)
- 下村 裕之 (理科)
- 南 明秀 (理科)
- 吉川 耕平 (理科)
- 深石 芳弘 (理科)
- 今井 敏文 (英語)
- 坂本 啓之 (英語)
- 中谷 一朗 (英語)
- テイモシ (英語)
- テイケアー (英語)
- 桑山 友規 (体育)
- 前川 礼 (事務)
- 井上 弓美子 (校務)

保護者家庭教育講座

- ・カトリック精神から見た家庭教育のあり方を共に分かち合うことにより、家庭・学校教育の姿を見つめる。
- ・父親との親睦を深め、学校・家庭教育について分かち合う。
- ・どなたでもご自由にご参加ください。

- 1. 日 時
AM 10:30 ~ PM 12:00
- 2. 場 所
啓光学園大会議室
(3号館3階)
- 3. テーマ
「共に生きる」
- 4. 講座日程
① 5月25日(水)
「夏見隆晴校長」
② 6月29日(水)
「フランクササ理事長」
③ 9月28日(水)
「山口猛典宗教学部部長」
④ 10月26日(水)
「フエリックス神父」
⑤ 11月30日(水)
「シスター与奈原」
⑥ 1月25日(水)
「山口 毅教頭」
⑦ 2月22日(水)
「昌川信雄神父」

編集後記

内閣府が二月五日に発表した「男女共同参画社会に関する世論調査」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」との考え方に、反対が四八・九%、賛成が四五・二%と調査が初めて行われた一九七九年(反対二〇・四%、賛成七二・六%)以来、初めて「賛成派」を上回ったことが分かりました。女性の社会進出への理解は確実に進んでいるようです。が、一方、家庭で実権を握っているのは「夫」という回答が四八・五%に達し、「妻」は二二・七%と依然、夫の権威は保たれているようです。せめて家の中だけでも偉そうにしたいものです。みなさんのご家庭はいかがですか？

物故者慰霊ミサのお知らせ
啓光学園に關係する物故者(聖職者、教職者、生徒)のための慰霊ミサをチャペルにて捧げます。
日時 11月5日(土)
時間については宗務部または事務所にお尋ねください。
(毎年11月の第一土曜)
場所 啓光会館2階チャペル
同窓会報にもあります。詳細は入試広報部までお問い合わせください。

